

## 青翔開智中学校 令和7年度 入試概況

### 入試結果概況

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
募集定員	50	50	50
志願者数	96	97	88
合格者数	56	59	59
志願倍率	1.92	1.94	1.76

### 入試総評

選考内容は学力検査（国語、算数、英語）及び面接検査（グループワーク、個人面接、書類審査）でした。学力検査は、国語と英語は例年通り、算数は標準的な出題でした。グループワークでは、事前課題に関する調査を入試当日までに行い、当日発表されるテーマに沿ってグループでアイデアを創出しました。グループで考えたアイデアは、個人面接において受検者それぞれが発表しました。2日間の検査を通して、アドミッション・ポリシーに沿った人物であるかどうかを総合的に判断して合否を決定しました。

### 学力検査 詳細

科目／配点	国語／50	算数／50	英語／25	合計／125
受検者最高点	45	41	23	99
受検者最低点	3	4	5	12
受検者平均点 3教科125点満点	22.4	22.6	14.0	59.0
合格者平均点 3教科125点満点	-	-	-	66.4

※上記は令和7年1月10日（金）実施の「学力検査」結果に基づく数値です。

実際の合否は、学力検査・面接検査を合わせた総合判定となります。

## **国語**

例年通り、小説文・説明文・作文の3題を出題しました。【問題1】 【問題2】の読解問題では、本文全体の内容を正確に読み取る力と、設問内容を的確に把握し丁寧に答える力を見えています。小学校での学びを大切に、普段から漢字や語句などの知識を正しく習得し、幅広い種類の文章に触れながら読み取りの練習に取り組んでほしいと考えています。次に【問題3】の作文問題においては、会話文の内容を正確に読み取ったうえで、自分の考えとその理由をわかりやすく整った文章にしてまとめる力を見えています。受験する方は指定された字数を意識して、繰り返し練習してください。

## **算数**

昨年同様の4題での出題でした。【問題1】は基礎の確認、【問題2】は規則性に関する問題でした。具体的な数から一般化して考える力を見えています。【問題3】では数に関する問題を出題しました。【問題4】は表の読み取りと、表から読み取れる内容を記述する問題でした。【問題4】の記述問題の採点基準は、表から読み取れる内容を適切に記述できているか、表から読み取ることのできない内容を記述していないかを見えています。基礎計算や基本事項の理解に力を注いでもらいたいと考えています。

## **英語**

昨年度に引き続き、「聞くこと」と「書くこと」にフォーカスした問題を出題しました。【問題1】では小学校で扱われる語彙の理解に加えて、アルファベットと数字を聞き取る問題を出題しました。英語の音声に慣れるだけでなく、正しいスペルで書き取る能力が求められます。【問題2】では、アルファベットの順番・大文字・小文字・ピリオド・クエスチョンマーク・適切なスペースなど、英文のルールについての問題に加えて、並び替え問題と日本語で答える記述問題を出題しました。記述問題では、英語を学ぶべきか、それ以外の言語を学ぶべきか、それぞれの立場と理由、そして自らの意見を問う問題でした。この問題を通して、外国語を学習する意義について、社会の状況も踏まえた自分なりの考えを持ってほしいと思っています。